

# 「みせまじ」へ行く?

家庭から出されたごみはどこで、どう処理されているのか。皆さんはご存知ですか。普段の生活の中で、特に身近な可燃ごみの行方を追ってみました。



ごみ収集指定日の朝。ごみは決められた場所に出されています。

パッカー車でごみを回収します。



収集したごみはクリーンセンター朝来事業所でいったん貯蔵用のピットに入れます。

パーなどの店舗回収や集団回収などによって、資源化されています。

## 分別品目とごみ出しルールを再確認して分別の徹底を

- 可燃ごみ
  - ・指定袋に入れる。
  - ・段ボール箱や発泡スチロールなど指定袋に入らないものは束ねて収集券を張る。



指定袋(左)と収集券(右)(市内の小売店で販売しています)

### ○不燃ごみ

- ・回収かごに裸で出す。
  - ・スプレー缶やカセットボンベは必ず穴を開ける。
  - ・石油ストーブ、ファンヒーターは灯油を抜き取る。
  - ・乾電池は別に分別して出す。
- ### ○資源ごみ
- ・中身を残さず、中を洗ってから回収かご・ボックスに出す。
  - あき缶
    - ・裸で出す。(大きさは3 ㍓以内のものに限る。)
    - あきびん
      - ・キャップをとって色ごとに分けて出す。

## さらなるごみ減量化に向けて



市保健衛生推進協議会  
会長 佐藤隆雄さん(和田山新町)

市保健衛生推進協議会では、クリーン作戦やリサイクルフェアを通して、ごみの減量化、再資源化を促進しています。今年度のクリーン作戦では、家庭からの便乗ごみも減りつつあり、市民の意識が高くなってきているように感じています。

しかし、不法投棄についてはなかなか歯止めがかかっておらず、不法投棄が不法投棄を呼ぶという悪循環を断たなければなりません。本年度は監視員を増員するなどして対策を強化しています。

また、10月から市内で始まるプラスチック製容器包装と紙製容器包装の分別収集はケーブルテレビ等でよく確認し、市民一丸となつてごみの減量化に取り組みましょう。

- ペットボトル
- キャップとラベルをとって出す。
- 白色トレイ
- ・乾いたものを割らずに裸で出す。

## 新たな分別、10月からスタート

現在、可燃ごみに分類されているプラスチック製容器包装(菓子の袋など)と紙製容器包装(菓子の箱など)は、分別することでさらにごみを削減することができます。

昨年6月に、モデル地区に指定された市内の8集落では、他の地域に先駆け、これら2種類の分別収集を行っています。

この分別収集は、ごみの減量化、資源化を推進するために行っているもので、今年10月からは市内全域で実施されます。今よりほんの少し手間を加える



モデル地区として取り組んでいるのは、生野4区、上生野、寺内、弥生が丘1区、川原町、柊木、物部、上八代の8集落。10月からは、市内全域で始まります。

だけで、限りある資源を有効に活用することが出来ます。皆さんのご協力をお願いします。(詳しくは9月号でお知らせします。)